

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校特別支援学級運営					所管	教育委員会 学務課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	221	計画事業名	特別支援教育の推進			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成							
		[小 柱] (3) 社会を生き抜く力を育てる教育の推進							
		[施策] ②特別支援教育の推進							
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	学校教育法			[事業開始] 昭和25年度 [終了予定] - 年度	
	事業対象	区立小学校特別支援学級							
	事業目的	小学校特別支援学級の円滑な運営を図る。							
	事業内容	特別支援学級の適正な学級編制を行い、学級運営に必要な消耗品・備品等を整備し、適切な教育環境の整備をする。							
委託の有無	なし		委託内容						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	特別支援学級		学級	25	19	19	21	
		(特別支援教室は10人1学級とみなす)							
	成果指標	特別支援学級在籍児童数		人	245	162	184	195	
		(29年度特別支援教室含む)							
	決算額 (単位:千円)					3,982	3,493	4,788	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				2,983	4,251	4,010	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				3,982	3,494	4,789	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0	
		総経費				6,965	7,745	8,799	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
	一般財源(区負担額)				6,965	7,745	8,799		
前回評価から改善した事項	石浜小学校情緒障害等通級指導学級を1学級新設して、通級希望児童の増加に対応した。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	法令等の定めにより、行政が主体となる必要がある。特別な支援を必要とする児童には、個々にあった適切な教育的支援が重要であり、特に情緒障害等通級指導学級への入級希望者は年々増加している。						
	効率性	3	石浜小学校に情緒障害等通級指導学級を設置するにあたり、必要最少限の備品・消耗品等の環境整備をした。						
	手段の適切性	3	特別支援学級に必要な教材や備品の購入を効率的に行えるよう、学級数に応じて各校に予算令達した。特に学級新設の石浜小には優先的に予算配分を行った。						
	目的達成度	4	情緒障害等通級指導学級を1学級開設し、増加する情緒障害・発達障害の児童への支援・指導の場を確保した。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 拡大改善維持 縮小 廃止・終了	
情緒障害等通級指導学級を1学級新設し環境整備を行った。また、各機関と連携しながら準備を進めている特別支援教室について、平成29年度から指導を開始し、より多くの発達障害のある児童への支援の場を拡大していく。							拡大		